

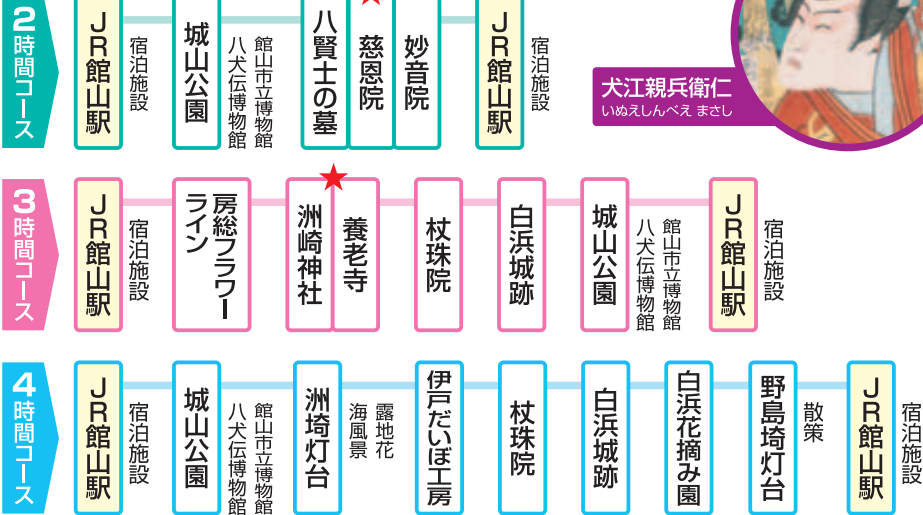
仁

里見八犬伝ロマン紀行(里海コース)

房総里見氏や南総里見八犬伝ゆかりの神社・ゆかりの地をめぐる歴史散策のコースです。天守閣のそびえる城山公園は館山駅から車で10分あまり。花に囲まれた公園をゆったりと散策すると、戦国時代にタイムスリップ。



犬江親兵衛仁
いめえしんべえ まさし



城山公園(館山市立博物館・八犬伝博物館)

里見氏9代義康・10代忠義の城跡に建てられた天守閣は博物館として八犬伝に関する錦絵や絵巻物などが展示されています。標高65.7mの城山の頂上にある天守閣は、館山の街並みが一望できるスポットとして人気があります。城山公園の中腹には、館山市立博物館があり、館山の歴史にいつもふれることができます。アプローチとなる彫刻の径には館山ゆかりの作家の作品が並んでいます。公園内には、1200本の椿が植えられた「つばきの径」などもあり、四季の花々に囲まれています。

●博物館:9時~16時30分/料金:大人150円・子ども80円(本館・分館共通) / 休館日:月(祝日開館) 年末年始 / ☎0470・23・5212



慈恩院(じおんいん)

館山城の東にあり、藤谷山と号し本織延命寺末の曹洞宗の寺。元は義康の持仏堂。本尊は十一面観音菩薩。里見氏から十五石の地を与えられ、天正九年(1581)里見義康の弟・玉嶺の創建といわれています。寺内には義康の墓があります。



妙音院(みょうおんいん)

古義真言宗の寺。高野山金剛峰寺の末寺。里見義康が紀伊国高野山から住職を呼んで開いた寺なので篤く保護されました。



伊戸だいぼ工房

房総フラワーラインの入口、遠く富士山や大島が一望できる景観を目前にした立ち寄りスポット。生き物観察のできる磯だまりは、本物の水族館のよう。その日の獲れたてが嬉しい漁師直売所ならではの食事のスポットでもあります。

●直売所:9時~17時/漁師茶屋:11時~16時/☎0470-29-1221

杖珠院(じょうしゅいん)

白浜城の東に位置する三峯山と号し本織延命寺末の曹洞宗の寺。本尊は阿弥陀如来。里見氏から二〇石の地を与えられ文安元年(1444)里見義実創建と伝えられています。義実、成義、義通、義豊など、前期里見氏の菩提寺で、江戸時代に建てられた義実の供養塔や義実以下四代の木像があります。

野島埼灯台(のじまざきとうだい)

房総半島の最南端、太平洋に突き出た岬が野島崎。白亜の灯台は白浜町のシンボル「野島埼灯台」。明治2年(1868)にフランス人技師ヴェルニーによって、設計・建設された日本初の洋式八灯台のひとつです。現在の灯台は、関東大震災後で倒壊したものを復元し現在に至っています。灯台のなかは、らせん階段になっていて、太平洋や、伊豆半島、三浦半島までが望める展望台に登れます。

灯台の周りは1周15分ほどの遊歩道になっていて、散策におすすめ。灯台資料展示室「きらりん館」は平成10年にオープンしたばかりで、灯台の歴史や役割などがひとめで分かる資料室です。